

応募用紙：水辺のユニバーサルデザイン大賞2004

特定非営利活動法人 ユニバーサル社会工学研究会 NPOUSER
 本事務局：〒110-0014東京都台東区北上野2-6-4上野竹内ビル3F
 TEL:03-5828-2193 FAX:03-5828-2191 E-mail:npouser@ecoh.co.jp

応募者所属・氏名	所属	NPO海洋塾			
	氏名	理事長富山順子(よりこ)			
応募者連絡先	住所	220-0012横浜市 西区みなとみらい12-1-1 日本丸メモリアルパーク タワーA棟2階			
	電話	045-221-1552	FAX		E-mail tomiyama@kaiyojuku.org
	推薦者所属・氏名	所属	NPO セイラビリティジャパン		
推薦者連絡先	氏名	西井伸嘉			
	住所	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町30-8-408			
	電話	03-3481-9788	FAX		E-mail nobin@sailability.org
応募・推薦の名称	ミラクル・ポンド・セーリング				
応募・推薦の場所	神奈川県西区みなとみらい 日本丸メモリアルパーク日本丸ドック				
応募理由	(概要を簡潔に記入してください。)				
<p>三菱重工の石造りドックの狭い水面で、優れたユニバーサルデザインのアクセスディンギーを使ったセーリングで、従来、経験や能力によって、始める事が難しいとされてきたセーリングを、誰でも安全に楽しく、すぐに始める事が出来る活動に変える事が出来ました。ここでは、普段着で通がかかった人たちが、気軽にセーリングを楽しんでいます。</p> <p>柵で囲まれた広場にテントをはり、テーブルを出して、一緒に食事をする事で、参加した方々の間でふれあいを持つことが出来ました。セーリングの水面としては狭いのですが、周りの近代的なビル群と日本丸や、公園内の行人たちを水面から眺める事は、セーリングをしている人にとっては、非日常的な体験であり、高層ビル群で雑になった風は、乗船者は都会の中でより身近に生の自然を感じる事が出来ます。</p> <p>カヤックのプログラムと一緒にすることにより、より広範囲のこれまで本格的なマリンスポーツを始めることがなかった人たちに、きっかけを与えます。</p>					
特徴	以下の5つについて、特徴を簡潔に記入してください。				
五感に心地よく、利用しやすい	<p>小さなアクセスディンギーやカヤックで水面に出ますと水の揺らぎ=胎児の時の揺らぎを感じる事が出</p> <p>特にアクセスディンギーは、そこに風の揺らぎが加わり、脳波に 波が発生して、ストレスが発散されま</p> <p>雑音が素面で吸収されて、都会にいるのにもかかわらず、雑音が気になりません。</p>				
環境にやさしい	<p>元々、ヨットは動力に風を利用してもっともクリーンエネルギーだといえます。</p> <p>カヤックも同様です。</p>				
ソフトが優れている	<p>カヤックを含めた現在の海洋塾の活動は、日本丸や周辺水域の活用プログラムとして、大きな可能性もたらすものです。</p> <p>日本丸マリタイムミュージアムやみなとみらいと連繋する事により、多彩なプログラムとなります。</p>				
社会経済的に優れている	<p>殆ど新たな投資をすることなく、今迄活用しきれなかった小さな水面を、安らぎの場として再生させ</p> <p>みなとみらいと言う名に相応しく、ヨットのある風景を提供しています。これはホテルの窓からの風景の付加価値を高める事になります</p>				
その他	アクセスディンギーの体験セーリングは、年齢、障害、経験に関係なく参加でき、このプログラムを中心どんな人をも含むコミュニティの構築を可能にします。				

添付資料 (概況写真・図面等)

都会の中で、自然に接する事が出来ます。眺めは最高、非日常的、ホテルの窓からヨットが見えるは

セーリングの順番を待つ間、このテントの下で一緒に過ごします。昼食もこのテントの下でみんな一緒にそれでコミュニティが出来てきます。こうすればリピーターが多くなります。

梱包の廃材と、捨ててあったスチロールを組み合わせて簡易桟橋を作りました。

7.5歳と8.5歳の二人の初めての経験

風が強いときでも波がないので中止になることはありません。

家族の誰もが楽しむ事が出来ます

カヤックをレスキュー艇に使用します。

将来はより広い水面と併用した、活動にしたいと考えています

<http://www.kaiyojuku.org/index.html>

<http://www.sailability.com/mainjpn.htm>